

金堂市長

自然に生きる

産業都市に

市長 金 堂 久 喜

私たちの住む郷土南国市が新しい田園都市をめざしてから、はや十年、これまで、財政の乏しきを乏しきとせず全市民の総力によって市の基礎が築かれ、明日への希望ある日を迎え得ましたことを市民のみなさんに厚く感謝いたしますとともに、西村、池川二代市長をはじめ、先輩諸兄に対し深く敬意を表します。

ここに、市政十年の感激をあらたに、宇宙時代の二十一世紀に向って、飛躍発展をめざした新しい生活圏を創造する長期計画を樹立しこれを計画的に、しかも確実に実施し、西日本一の田園都市への建設に向って、市政をすすめてゆきます。

幸い市発展の母胎である物部川水利開発事業が、十五億円余りの工費で昨年より実施されており、国分川とともに豊かな水資源の供給を可能ならしめ、農工業ほもとより、生活用水への利用など、市の未来にはてしない夢を大きく秘めています。

最近、米価問題から端を発して米作転換が叫ばれるようになりこれからの農業のあり方をじっくり考え、誤まりのない方向にむかってゆくべき重大な岐路にたっており、そのためこんごの農産物の推移と需要は、いちじるしく変動をみせてくることが考えら

南国市政十周年を、四万市民の皆さんとともにお祝い申し上げます。

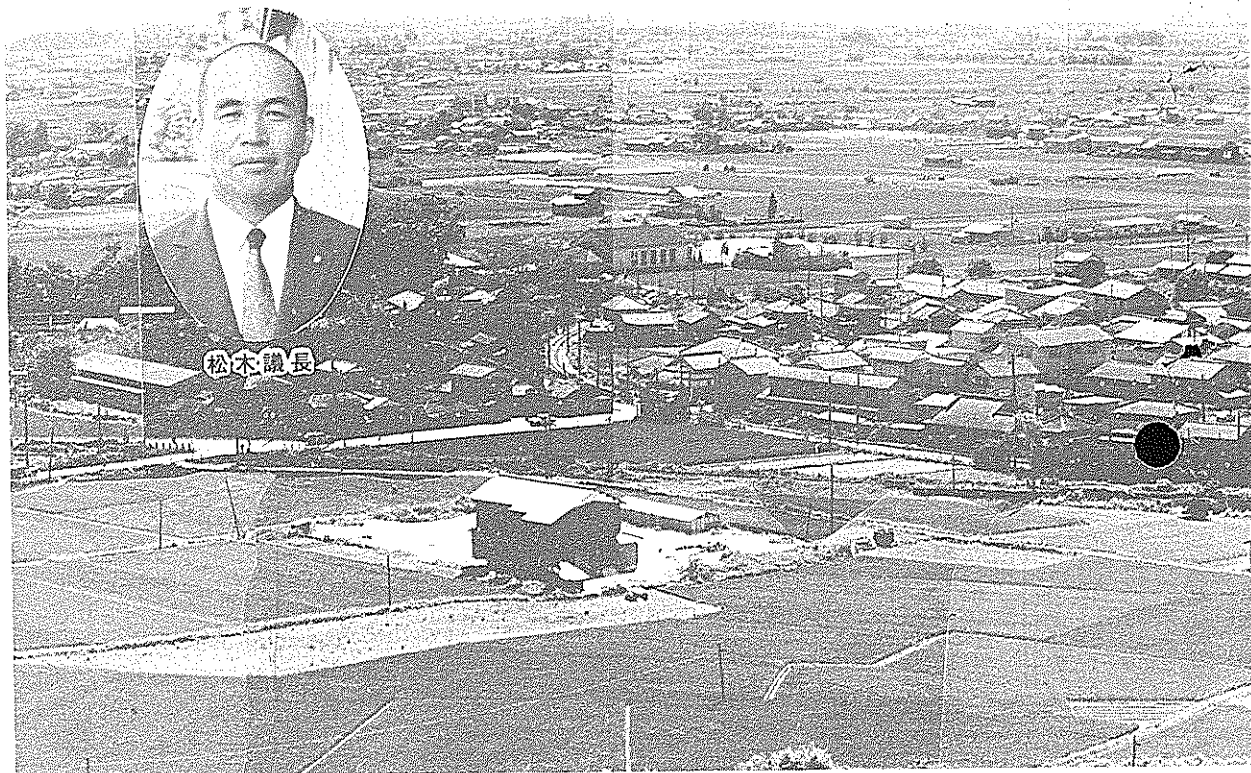
いま過ぎ去った市政を振り返りますとき、合併以来赤字財政に悩まされながらも、新興田園都市として積極的な施策により黙々と堅実に歩み続けて十年、おかげさまで本市もようやく基盤が確立、これからは文化の香り高く、活気に満ちた伸びゆく南国市の建設へ踏み出すときになりました。

この機会に、こうした輝かしいあすへの発展の基礎を築き上げられた合併以来の先輩のご功績をたたえ、ご辛苦の数々にあらためて深く敬意を表します。

科学文明の進歩はついに人間を月に送り込み、地球が外から見られる宇宙時代にはいりました。この新しい時代の中で、私たちの生活環境も大きく変わりつつあります。

本市は高知市のベッドタウンとして、中央部の過密化により人口は増加し、また高知県の中央部広域都市計画圏の中で農工一体の生産都市として、また高知県の交通の要衝として急速に発展しようとしています。

市民の皆さま、この記念すべき日を契機として成るは成るの日に成るにあらざることをあらためて確認し、私たちに課せられた責任の重大さに思いをいたし、皆さまより、より多くのご指導とご協力をいただき、ともに手を携えてあすの市政発展のため力一ぱい前進しようではありませんか。



松本議長